



## こんな子どもに育てます

今年度、初めて全園児が登園し、勢揃いする 14 日(金)に、年少さんと年中・年長さんとの対面式を行いました。年中・年長さんは、たんぽぽ時代の年少さんと触れ合ったり、きょうだい関係で一緒に遊んだりして、知ってはいたのですが、同じ幼稚園の仲間としては初めての対面です。

幼稚園のあちこちから元気のよい声が聞こえ、全学年の保護者会も終わり、各学級の委員さんも選出され、本格的に幼稚園の教育活動のスタートしました。そこで、本年度も目指す子ども像は、私が園長の間は、「自然を愛し、生き生きと活動する子ども」～子どもが真ん中、子どもが一番、子どもに真っ直ぐ～は変わりありません。この目指す子ども像に迫るために、各学年は、次のような目標を設定しました。

### 【たんぽぽ】

#### ○1年間の目標

- ・親子で触れ合い、遊びや様々な活動を楽しむ

#### ○1学期の目標

- ・たんぽぽに喜んで登園し、親子で安心して遊ぶ

### 【年少】

#### ○1年間の目標

- ・先生や友達に親しみを持ち、安心してのびのびと園生活を送る

#### ○1学期の目標

- ・親と離れ、先生や友達に親しみ、安心して園生活を送る
- ・自分の好きな遊びを見つけ、楽しむ
- ・基本的な身の回りのこと(排泄、手洗い、食事着替えの仕方)を知り、教師と一緒にしようとする

### 【年中】

#### ○1年間の目標

- ・人との関わりを喜びながら、身近な環境や活動に興味を持ち、遊びを広げていく

#### ○1学期の目標

- ・喜んで登園し、自分の好きな遊びを見つけて、思い切り楽しむ
- ・先生や友達に喜んで関わり親しみを持っていく
- ・園内や周辺の身近な自然(土、泥、水、草、虫、野菜の栽培)に十分に触れ、楽しんでいく

### 【年長】

#### ○1年間の目標

- ・頭、心、身体を十分に動かし、頑張り抜く気持ちを育て、更なる意欲を身につけていく。

#### ○1学期の目標

- ・年長になった事を喜び意欲的に活動に取り組む

## アニョハセヨ、韓国の学生さん!

日本の幼稚園の実情を学ぶために、21日(金)に、韓国の大同大学幼児教育科1年の学生さん25名が、来園しました。幼稚園としても新学期始まったばかりで、十分に見せるところはないとお断りしたのですが、是非にとということで訪問していただきました。男性1人に女性24人のグループでしたから、とても華やぎ、本当に視察に来たのかと思うくらいでした。化粧が上手くて、筑女の学生より大人っぽく(?)見えたのは私だけでしょうか。

しかし、流石に幼稚園の教師を目指しているだけあって、初めは、緊張した面持ちでしたが、子どもたちの笑顔に接すると、片言の日本語で優しく語りかけていました。黒1点の男子学生は、日本の「鬼ごっこ」を知っているのか、子どもたちと園庭を駆け回り、爽やかな汗を流していました。幼稚園や小学校の教師を目指す学生が、直ぐに、子どもに寄り添うところは、万国共通だなと思いました。

お隣韓国とは、若者同士の文化交流はとても盛んです。しかし、政治的な面では、日本を必要以上に非難するところがあり、気になっていましたが、子どもたちと笑顔で触れ合う学生さんの姿を見ると、平和っていいなあと思います。

本園の特色は、子どもたちが、恵まれた自然環境を生かして、豊かな活動を行うところです。そこで響流の森を案内すると、引率の先生や学生が、異口同音に感嘆の声を上げられ、本園の子どもたちは恵まれていると話されました。響流の森の遊具で楽しんだり、散歩したりして、しばらくの間、幼稚園の環境に浸られました。その後、保育室での園児の様子も見たいということから案内しますと、子どもの活動的な姿に感心されました。また、老朽化した園舎についても、近代化された園舎より、この方が趣があつて好きと話されたのには、驚きました。本園をととても気に入っていただき、他の見学先をキャンセルされ、滞在予定60分のところを、40分もオーバーして見学視察されました。

